

SHINRAI's Strong Point

定期保険 低解約返戻金型長期定期保険



フコクしんらい生命のご紹介

2008年2月、「共栄火災しんらい保険株式会社」を前身に、フコク生命グループにおける、代理店をととした保険販売をになう専門会社として、「フコクしんらい生命保険株式会社」は誕生しました。

以降、企業理念に「一翼をになう存在をめざして」を掲げ、お客さまに寄り添いながら歩み続けています。

●沿革

1996年	共栄火災海上保険（相）の全額出資子会社「共栄火災しんらい生命保険（株）」として設立
2008年	富国生命保険(相)が共栄火災海上保険(株)から発行済株式数の80%を取得、「フコクしんらい生命保険(株)」に商号変更
	上半期末の総資産が1,000億円を突破
2009年	資本金総額を200億円に増資（資本準備金50億円を含む）
2011年	年度末の総資産が1兆円を突破
	資本金総額を309億円に増資（資本準備金104億円を含む）
2012年	本社を東京都新宿区西新宿へ移転
2017年	資本金総額を609億円に増資（資本準備金254億円を含む）
2018年	利率更改型一時払終身保険「しんらいの一時払終身保険（無告知型）」を発売
2021年	解約返戻金抑制型医療保険「医療自在FS」を改定

弊社は、共栄火災海上保険（株）と事務代行委託契約を締結しております。
募集・保全に関する窓口は、担当の共栄火災営業店となります。

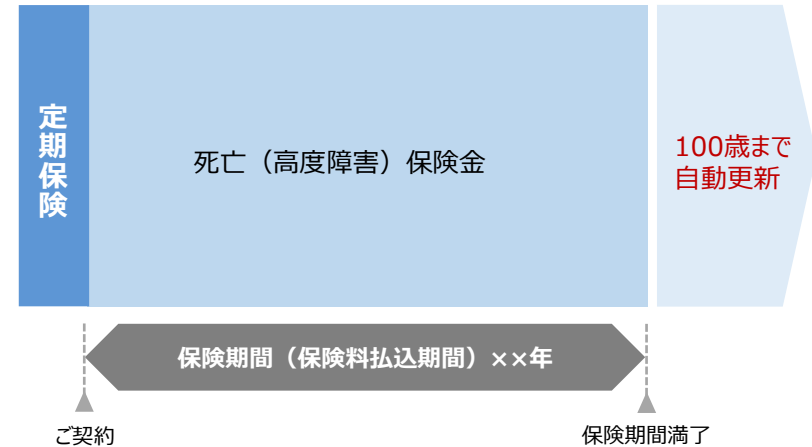
●概要

会社名	フコクしんらい生命保険株式会社
所在地	〒160-6132 東京都新宿区西新宿8-17-1
設立	1996年8月8日（2008年2月1日に社名変更）
資本金	609億円（資本準備金254億円を含む） ＜2025年3月末現在＞
株主	富国生命保険相互会社(89.6%) 共栄火災海上保険株式会社(7.9%) 信金中央金庫(2.5%) ＜2025年3月末現在＞
従業員数	277名 ＜2025年3月末現在＞
代理店数	1,104店 ＜2025年3月末現在＞
格付け健全性	格付け ＜2025年5月現在＞ ダブルエー AA 当社では日本格付研究所（JCR）より保険金支払能力について「AA」（ダブルエー：債務履行の確実性は非常に高い）の格付けを取得しています。
	※ 格付けはあくまでも格付会社の意見であり、保険金の支払い等について保証を行うものではありません。また、格付会社が継続的に格付けを監視するものであり、将来的には変更される可能性があります。 ソルベンシー・マージン比率 ＜2024年度末＞ 901.0% ※ ソルベンシー・マージンとは、「支払余力」という意味です。保険会社が大地震や株の大暴落等、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための、行政監督上の指標の一つがソルベンシー・マージン比率です。

定期保険・低解約返戻金型長期定期保険の特徴

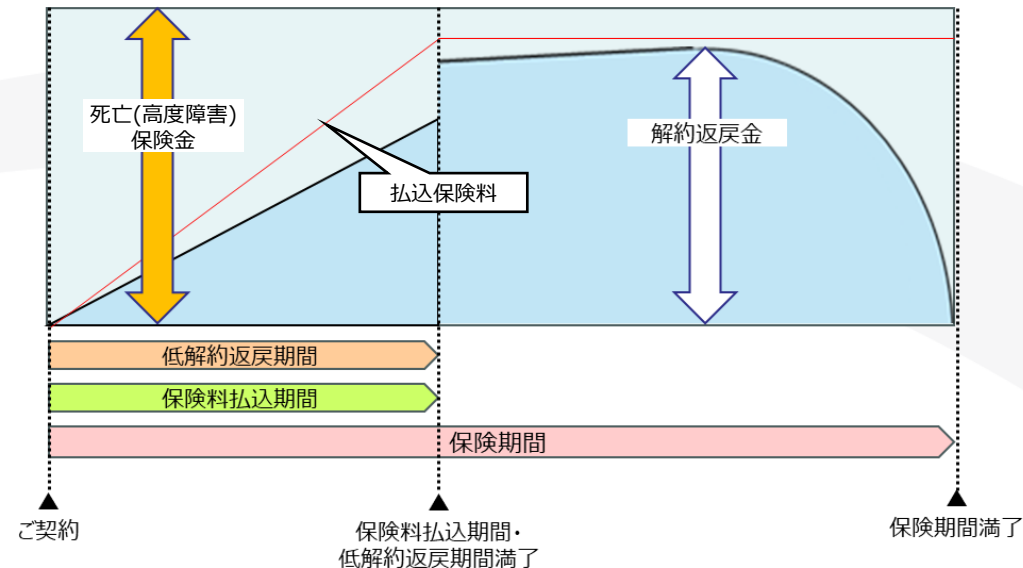
定期保険

- 特徴 1** **万一**に備えることができます
死亡保険金・高度障害保険金をお支払いします
- 特徴 2** ご自身のライフプランにあわせて
保険期間や**保険金額**をお選びいただけます
- 特徴 3** ニーズに合わせて**各種特約を付加**することで
必要な保障をお選びいただけます



低解約返戻金型長期定期保険

- 特徴 1** **最長100歳**までの**長期保障**をご用意できます
- 特徴 2** **資産形成**にもお役立ていただけます。
● 低解約返戻金期間経過後、一定期間高い水準の解約返戻金があります。
- 特徴 3** **保険料が割安です。**
● 低解約返戻金期間中の解約返戻金を抑えることで保険料が割安となっています。
● 保険期間が一定期間のため、保障期間が一生涯の場合より保険料が割安となっています。



定期保険・低解約返戻金型長期定期保険のポイント

POINT

①

【定期保険】

お手頃な保険料で必要な時期に必要な保障を準備できる

POINT

②

【定期保険】

特約を付加することでがんのリスクもカバーできる

POINT

③

【定期保険】

経営者ががん罹患時、経営対策資金への活用も可能

POINT

④

【低解約返戻金型長期定期保険】

経営資金とあわせて、勇退時の退職慰労金の準備ができる

Point① 【定期保険】お手頃な保険料で必要な時期に必要な保障を準備できる

- 長い人生にはさまざまなライフイベントがあります。いつ、どんなライフイベントを迎えるのか、いくらくらいお金がかかるのかは人によってさまざまです。
- これから起こるライフイベントを考えると、必要となるお金がどのくらいかが分かるため、計画的に準備することができます。
- 万一のことがあった場合、ライフイベントによって大きな負担がかかる可能性があります。

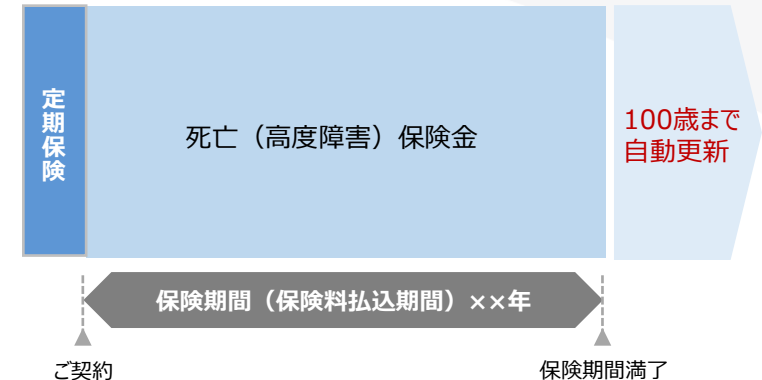


Point!

定期保険は「**更新型**」のため、保険期間が生涯の終身型と比べて**保険料が
お手頃で、一定期間の保障がほしい**というニーズにこたえることができます！

- 契約は100歳まで自動更新できます！保険期間（保険料払込期間）中の保険料は変わりません！※
- 更新時に健康告知等はありません！契約途中でがんに罹患しても、更新できる権利があります！

※更新後の保険料は、更新時の被保険者の年齢および保険料率により計算します。したがって、更新後の保険料は、更新前と異なります。



Point② 【定期保険】特約を付加することでがんのリスクもカバーできる

- ・ がんに罹患すると今までのように働けなくなり、収入は減少することが多いです。
- ・ がん患者本人へのアンケートでは、約半分の人が「収入が減った」と回答しています。

●「がんへの備え」の考え方

治療費 への備え **+** **収入減少** への備え

治療費の備えに注目しがちですが、実は、治療費と同様に重要なのは収入減少への備えです。

2つのリスクに備えるために高額ながん保障の必要性があります。



お子さまがいるご家庭では、がんに罹患した際に収入減少しても、学費や生活費、住宅ローン等の費用は変わらずかかります…

<事例>

夫（45歳男性・年収600万円）、妻・こども2人の4人家族の場合

<参考> 大学入学から卒業までの費用
(自宅から4年間通学した場合)

- 国公立……………約481万円*1
- 私立文系……………約690万円
- 私立理系……………約822万円

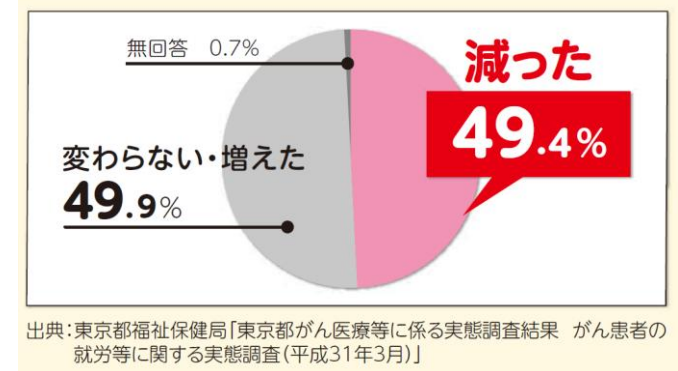
- ✓ 学費の中でもっともお金がかかるのは、大学費用です
- ✓ **せっかく貯めた教育資金を生活費等に取り崩すことになるかもしれません**

*1 日本政策金融金庫「教育費負担の実態調査結果（令和3年度）」をもとに当社算出

こどもの進路を狭めてしまうかも…



* <参考> がん罹患後の収入状況



契約例

【保険金額】定期保険 100万円 がん保障定期保険特約 400万円
【契約年齢】45歳 【性別】男性
【保険期間（保険料払込期間）】10年
【保険料払込方法】口座振替月払 3,615円



Point! がんに罹患した際の**収入減少**のリスクにも**しっかりと備えられる**ため、安心して治療に専念することができます！

Point③ 【定期保険】経営者ががん罹患時、経営対策資金への活用も可能

- ・ 経営者が「がんによって働けなくなる期間」は経営に大きな影響が出る可能性があります。
- ・ ご自身の治療費等、個人で備えている方は多いですが、会社を守るための備えも個人と分けて考えておくことが重要です。

経営者が「がん」に罹患し不在となったら・・・

営業力の
低下

意思決定
スピードの
低下

信用力の
低下

さまざまな問題が発生する可能性があります

がん保険に加入されている方は多いですが、そのほとんどはご自身に対する備えであることが多く、会社を守るための備えは手薄なことも・・・

- ✓ 社長のがん治療闘病期間中の当面の運転資金や借入金の返済、従業員への給与支払い等、会社を守るための備え（＝法人契約）については、社長ご自身の治療費代（＝個人契約）とは別に考えることが大切です

※ 説例における定期保険・がん保障定期保険特約はいずれも最高返戻率50%以下のため、支払保険料は全額損金算入できます。
（「支払保険料」を損金算入しても「保険金」「解約返戻金」等は益金に参入され、原則、課税される金額は同額となり、節税効果はありません）

Point!

がんと医師に診断確定されたとき、一度の請求で当初から定まった金額を一時金でお受取りいただけるため、当面の運転資金や借入金の返済等にまとまったお金を準備することができ、会社を守ることができます。

がん罹患の際の準備金として、あらかじめいくら受け取れるか予想できるため、計画的に準備することができます。

＜事例＞ 代表取締役社長（50歳・男性）の場合

- ☑ 法人名義で死亡保障に加入しており、万一の際の準備はしているが「がん」への備えはしていない。
- ☑ 代替のきかない業務を社長自身が担っている。

契約例

【保険金額】定期保険 1,000万円 がん保障定期保険特約 1,500万円
【契約年齢】50歳 【性別】男性
【保険期間（保険料払込期間）】10年
【保険料払込方法】口座振替年払 285,535円（月払の場合24,245円）



Point④ 【低解約返戻金型長期定期保険】経営資金とあわせて、勇退時の退職慰労金の準備ができる

- 「退職金」は、長年の勤労に対する報奨として、会社から本人や遺族へ支払うことになります。特に、社長や会長など役員の「役員退職金」、「死亡退職金」、「弔慰金」は高額になるため、あらかじめの準備が必要です。
- 退任年度に決算が大幅赤字となった場合等には退職金を準備できないこともあり得ますので、そのような事態を回避するため、退任直前に 急いで退職金の準備をするのではなく、支払われるべき退職金の原資を確保するため、早い段階から生命保険等を上手に活用しながら準備を始めることをお勧めします。

会社にとってのメリット

1. 解約返戻金や契約者貸付を利用できる

金融資産である生命保険の解約返戻金や契約者貸付を利用することにより、資金繰りを助けます。

2. 保険契約を現物支給することができる

退職時に、契約者と保険金受取人を会社から役員個人へ名義変更することで、変更後は役員個人の保障として継続することができます。

3. 保険料を損金に算入できる

商品や契約内容にもよりますが、法人保険であれば保険料を損金に算入することが可能です。

※「支払保険料」を損金算入しても「保険金」「解約返戻金」等は益金に参入され、原則、課税される金額は同額となり、節税効果はありません。

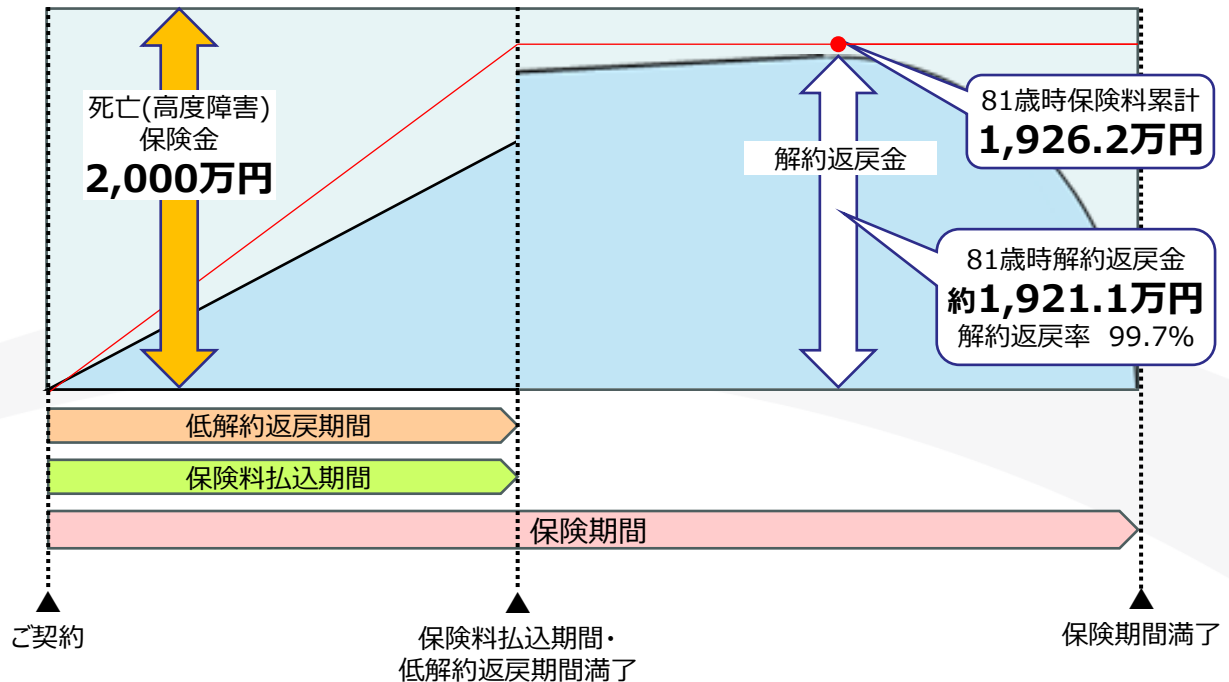
契約例

【保険金額】低解約返戻金型長期定期保険 2,000万円

【契約年齢】50歳 【性別】男性

【保険期間】100歳 【保険料払込期間（低解約返戻金期間）】70歳

【保険料払込方法】口座振替年払 963,100円



Point!

「低解約返戻金型長期定期保険」に加入することにより、役員に万が一のことがあった場合に備えながら退職時に保険を解約して解約返戻金を役員退職金とすることができます。

代理店手数料・営推換算成績

«契約例»

【保険種類】 定期保険 【保険金額】 1億円 【契約年齢】 50歳 【性別】 男性

【保険期間】 100歳 【払込期間】 70歳 【保険料払込方法】 口座振替年払 【保険料】5,155,900円

▼ 代理店手数料（お支払い例）

【手数料支払方法：L字払】

（単位：円）

代理店種別	初年度	継続年度		総支払額
		2年度目	累計	
E級	1,111,000	154,000	1,078,000	2,189,000
S級	902,000	132,000	924,000	1,826,000
A1級	836,000	121,000	847,000	1,683,000
A2級	693,000	99,000	693,000	1,386,000

▼ 営推換算成績（抜粋）

保険種類	保険期間（払込期間）	満期時年齢	商品別係数	短期払係数	診査扱係数
定期保険	10年以下	－	2.0	払込期間÷保険期間	<審査扱> 1.2 <その他> 1.0
	10年超	～65歳	4.0		
		66歳～	2.0		
低解約返戻金型	10年～14年	－	0.5	－	
長期定期保険	15年～	－	2.0		

【計算例】

年換算保険料	商品別係数	短期払係数	診査扱係数	営推換算成績
5,155,900円	2.0	0.4	1.2	4,949,664円

本資料に関するご照会先

**フコクしんらい生命保険株式会社
代理店営業推進部 代理店業務グループ
03-5348-6558**